

令和元年度

主な
目玉事業は

二段表示は
上段:事業決算額
下段:自主財源額
※差額は依存財源
(国・県の補助金と
町債を充てています)

消防詰所新築工事設計費

412万円
112万円



JR車両基地・貨物駅等
周辺整備事業

2億7499万円
768万円



小型動力ポンプ
積載車購入2台

1122万円
302万円



白鶴保育所
エアコン設置工事

227万円
47万円



岡田小学校
児童クラブ新築工事

2億6223万円
1740万円



はだか麦プロジェクト
「はだかむぎゅ」の商品発売

829万円
428万円



花いっぱい事業

321万円
257万円



文化センター内
図書館「おはなしの部屋」
間仕切設置工事

447万円
168万円



北公民館
耐震補強工事

1億3695万円
2475万円



★その他の会計別決算状況

会計名	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	34億8109万円	32億6163万円
後期高齢者医療特別会計	4億7082万円	4億5468万円
介護保険特別会計	29億0794万円	28億2622万円
公共下水道事業特別会計	7億7346万円	7億1479万円
水道事業会計	収入	支出
収益的 収入・支出	4億5541万円	4億4469万円
資本的 収入・支出	2億6033万円	4億4646万円

監査委員から提言

◎一般会計、特別会計の
審査より

★財政運営

経常収支比率が依然
高い水準で推移してい
る。社会福祉の充実や
公共施設の計画的整備
などやむを得ない事情
はあるが、さらなる適
正な財政運営を。

★収入の確保

町税の収納方針を立
て業務を着実に実施し
改善の努力が見える。
各種使用料や貸付償
還金も不公平感の無い
ように徴収及び収入未
済金の改善に努めるこ
と。回収が極めて困難
な不良債権は、計画的
な債権整理を。

★経費の見直し

随意契約の執行は、
少額なものでも統一的
かつ公平であるか検証
が必要。
前例踏襲的に契約せ
ずに見直しが必要と判
断されれば、競争入札
導入の検討も。

★事務事業評価

多様化する町民ニ
ズや社会情勢の変化に
対応し、行財政改革に
努めて業務改善や事務
事業の再編・整理を。

◎水道事業会計の審査より

★経営状況

今後さらに厳しい経
営状態になっていくと
予想されるが、毎年度
資金確保と経費節減の
努力を。

★管路整備

他の関連工事との調
整を行い、経費節減と計
画的管路整備の推進を。

★有収率

今後の有収率の推移
を注視して計画的な漏
水対策と適正な管理を。

★給水の確保

安心で安全な給水
のためには経営を安
定させ、企業会計の目
的が達成されるよう
な努力を。

☆議会として(結び)

令和元年度の決算に
ついて、慎重に審査した。
第5次総合計画に繋が
る事業展開なのか、そ
の評価についても分野
ごとにチェックした。
就労時間や費用対効果
など改善点を求め提言
し認定した。